

科目コード	R5030	科目名	人間発達学				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	平尾 文						
授業の概要	人間（赤ちゃん）の発達について、特に胎生期から生後1年間の発達について学習・体験し、理解に繋がります。実技を通して、特にどの時期の何が重要かを体験します。人間発達（赤ちゃん）に対する理解が深まると、赤ちゃんのすごさ・面白さがわかります。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 人間発達を学ぶ意義を3つ列挙できるようになる コミュニケーションとは何かを説明できるようになる 人間の発達に必要な要素を3つ列挙できるようになる 						
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出期限を守ってください 配布資料は大事に保管してください 授業態度が不適切な場合は、厳重注意をすることがあります 						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	なぜ人間発達を学ぶ？ コミュニケーションとは？				コミュニケーションとは何かを考えておく（60分）	
	2	胎生期・新生児期について（動画を用いての学習）				動画内の胎内の赤ちゃんの笑顔や動きについてイメージをする（60分）	
	3	姿勢反射・反応について				姿勢反射・反応の統合の時期について考える（60分）	
	4	運動発達について（0か月～3か月動画を用いての学習）				0～3か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）	
	5	運動発達について（4か月～6か月動画を用いての学習）				0～3か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）	
	6	運動発達について（7か月～9か月動画を用いての学習）				7～9か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）	
	7	運動発達について（10か月～12か月動画を用いての学習）				10～12か月の赤ちゃんの動きについて、復習する（60分）	
	8	運動発達について（12か月～14か月動画を用いての学習）				12～14か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）	
	9	手の発達について				手の発達について、図を観ながら真似をしてみる（60分）	
	10	認知・感覚について				認知の発達について、日常生活の中でどの様なことがあるのか具体例を3つ考える（60分）	
	11	遊びについて				屋外での遊び体験が、具体的にどのような能力に繋がるのかを考える（60分）	
	12	摂食について（摂食実技：食物の固さによる身体の変化を体験する）				自分の日常の食事を考え、どの様な固さのものが多くあるのか考える（60分）	
	13	言葉の発達について				子どもの言葉の発達について、どの様なことが影響するのかを復習する（60分）	
	14	発達検査について				発達検査の正式名称および対象年齢を理解する（60分）	
15	第1回～14回までのダイジェストのまとめ				この授業を振り返り、赤ちゃんの発達に何が重要であるかを考える（60分）		
成績評価方法	期末試験（60%）・提出物（40%）にて総合評価します。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	イラストでわかる人間発達学・上杉雅之（医歯薬出版株式会社）					978-4-263-21945-4	
参考書	食卓の向こう側+健康は口から コミック編					978-4-88345-140-1	
教員からのメッセージ	面白い内容です。自ら学びを楽しんでください。						
教員との連絡方法	パソコンのアドレスまでメールを送ってください。aya.72710@hcu.ac.jp						
実務経験のある教員	小児専門の作業療法士として、15年間の病院での勤務経験を持つ。その間に担当した子どもさん約600人。こちらの経験を基に人間（赤ちゃん）の発達について、実技を交えて楽しみながら学ぶ授業です。						